

東カリブ諸国機構（OECS）6か国月間情勢報告  
（アンティグア・バーブーダ（アンティグア）、ドミニカ（国）、グレナダ、セントルシア、セントクリストファー・ネイビス（セントキッツ）、セントビンセント及びグレナディーン諸島（セントビンセント））  
（2024年1月）

在トリニダード・トバゴ日本国大使館

1月の東カリブ諸国機構（OECS）6か国（注）の内政、経済、外交月間報告は以下の通り。

（注：アンティグア・バーブーダ（アンティグア）、ドミニカ（国）、グレナダ、セントルシア、セントクリストファー・ネイビス（セントキッツ）、セントビンセント及びグレナディーン諸島（セントビンセント））

## 1 概況

- （アンティグア）アイルランド政府は、5月27～30日にアンティグアで開催される第4回小島嶼開発途上国（SIDS）国際会議への100万ユーロの拠出を発表。
- （アンティグア）駐中国アンティグア大使館が北京に開館。
- （アンティグア）ブラウン首相は習近平国家主席と二国間会談を実施し、合計10の協定に署名。
- （アンティグア）国際通貨基金（IMF）は、アンティグアの2023年の経済成長率を5.7%と予測。
- （セントルシア）ピエール首相は、年収2.55万東カリブドル（9,373.80米ドル）以下の国民約1.4万人に対する所得税の免除を発表。さらに、2021年度までの未納税者に対する罰金や違約金、利息を100%免除する緩和措置を開始。また、衛生用品や輸入太陽光発電システム、輸入医療機器等に対する免税措置を導入。
- （セントビンセント）ジェームス観光相は、2023年の観光客の消費総額は5億東カリブドル（約1.84億米ドル）を記録したと発表。
- （OECS）セントビンセント、セントキッツ、及びセントルシア政府はそれぞれ13日付声明において、同日実施された台湾総督選挙における与党民進党の頼清徳次期総督及び蕭美琴次期副総督の当選への祝辞を表明。一方、アンティグア、ドミニカ、及びグレナダ政府はそれぞれ14日付声明において、「一つの中国」政策を支持する旨を改めて表明。

## 2 内政

●（5日グレナダ報道）ミッチェル首相は内閣改造を実施。5日、グレナード総督のもと宣誓式が行われ、新内閣が正式に発足。

## 3 経済

●（2日アンティグア報道）政府は、2024年1月1日付で、公共部門の労働者に対し9%の給与引き上げを実施。

●（8日セントビンセント報道）政府は、2024年3月1日より、フルタイム労働者の最低賃金を日給50東カリブドル（18.38米ドル）、又は月給を1,000東カリブドル（367.60米ドル）に引き上げると発表。

●（8日セントビンセント報道）ゴンザルベス財務相は、国内線・国際線全ての空港のサービス手数料を2024年5月1日より40米ドルから55米ドルに引き上げると発表。同引き上げによる追加収入は、アーガイル国際空港の運営資金に充てられる見込み。

●（12日アンティグア報道）アイルランド政府は、5月27～30日にアンティグアで開催される第4回小島嶼開発途上国（SIDS）国際会議への100万ユーロの拠出を発表。

●（17日セントキッツ報道）海洋資源局は、ネービス海域の魚やロブスターの生息数増加を目的に、コンク貝を使用した人工魚礁の設置プロジェクトを2024年に開始する予定であると発表。

●（23日セントルシア政府発表）台湾政府はセントルシアの社会的弱者への支援として、約10万東カリブドル（36,760米ドル）相当の衣類や靴、スポーツ用品、生理用品等多岐にわたる必需品を寄付した。

●（23日セントルシア政府発表）ピエール首相は、年収2.55万東カリブドル（9,373.80米ドル）以下の国民約1万4,000人に対する所得税の免除を発表。さらに、2021年度までの未納税者に対する罰金や違約金、利息を100%免除する緩和措置を開始。また、衛生用品や輸入太陽光発電システム、輸入医療機器等に対する免税措置を導入。

●（24日アンティグア報道）国際通貨基金（IMF）は、主に観光業と建設業の回復により、アンティグアの2023年の経済成長率を5.7%と予測。

●（25日セントビンセント報道）ジェームス観光相は、2023年の観光客の消費総額は5億東カリブドル（約1.84億米ドル）を記録したと発表。2024年には大手ホテルチェーンが進出する予定であり、同年の総入国者数はコロナ禍以前である2019年の入国者数を77.1%上回る見込み。

●（26日ドミニカ報道）世界銀行は、ドミニカにおける低コストなクリーンエネルギー開発に向けて、新たに3,850万ドルの送電網建設プロジェクトを承

認。

●（26日セントビンセント報道）農業省は国連食糧農業機関（FAO）の指導の下、漁業分野の法改正作業を開始。

#### 4 外交

●（13日セントビンセント報道、同日セントキッツ政府発表、同日セントルシア政府発表）セントビンセント、セントキッツ、及びセントルシア政府はそれぞれ13日付声明において、同日実施された台湾総督選挙における与党民進党の頼清徳次期総督及び蕭美琴次期副総督の当選への祝辞を表明。

●（14日アンティグア報道、同日ドミニカ政府発表、同日グレナダ政府発表）アンティグア、ドミニカ、及びグレナダ政府はそれぞれ14日付声明において、13日に実施された台湾総統選挙を受け、「一つの中国」政策を支持する旨を改めて表明。

●（16日アンティグア報道）アルサイハニ・サウジアラビア大使はウィリアムズ総督に信任状を捧呈し、初の駐アンティグア・サウジアラビア大使に就任。

●（17日セントルシア報道、22日同国政府発表）政府は16日付声明において、世界保健機関（WHO）に対し、健康危機に関する国際会議や取り組み等における台湾の参加承認を要請。

●（23日アンティグア報道）ブラウン首相は、北京で開催された中国・アンティグア貿易・投資協力フォーラムで演説し、中国からの経済貿易投資及び観光客の増加を期待すると発言。

●（23日アンティグア報道）駐中国アンティグア大使館が北京に開館され、ブラウン首相は近日中に常駐大使を任命すると発表。

●（24日、25日報道）ブラウン首相は習近平国家主席と二国間会談を実施し、相互査証免除協定や水再生プロジェクトに関する協定（当館中：アンティグアにおける配水管老朽化の課題に対する相互理解に関する覚書）など、合計10の協定に署名。

●（26日セントキッツ政府発表）セントキッツとカザフスタンが相互査証免除協定を締結。

●（26日セントキッツ政府発表）セントキッツとパキスタンが国交を樹立。